

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 10 月 22 日

【評価実施概要】

事業所番号	3871000281		
法人名	有限会社ユニットワン		
事業所名	グループホーム ユニットいよ		
所在地	愛媛県伊予市灘町302番地1 (電話) 089-997-3250		
管理者	三浦洋子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 8 月 30 日	評価確定日	平成 19 年 10 月 23 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 8 月 6 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 11 人, 非常勤 8 人, 常勤換算	4.85 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,400 円	

(3) 利用者の概要 (平成 19 年 8 月 6 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	1 名	要介護2	6 名
要介護3	4 名	要介護4	6 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.3 歳	最低 77 歳	最高 97 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	あり	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

五色浜海岸が近くにあり、景観に恵まれた場所に立地している。3階建てビルの2階全体を2ユニットで利用している。関連医療機関がすぐ近くにあり、医療面において安心した生活が送れる。毎日の生活も、午前中は体操やゲーム・お話の会、昼からは散歩・買い物・ドライブ・創作活動と充実した柔軟性のある活動が組まれている。地域の方との交流も徐々に深まっており、デイサービスも開始して、入居者に積極性があらわれるなどの好影響を与えている。スタッフもやりがいを持って働けるような研修体制ができています。小さな工夫が各方面でされており、利用者の生活の質を上げようという姿勢が感じられるホームである。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
避難訓練の実施を定期的に行ったり、町内会への入会や運営推進会議の開催による地域交流の深まり、パートも含めた研修体制の確立など、前回評価後にスタッフで話し合いを行い実践している。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
管理者・ユニット主任・ユニットリーダーが中心となって作成した。次回からは職員全員が取り組むことを期待する。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
運営推進会議は定期的開催している。会議で提案された掲示板を玄関前に取り付け、ホームや地域の広報に非常に役立っている。また、運営推進会議をきっかけに、利用者が楽しんで昔話をする場面が見られたり、安心して買物ができるお店ができるなど、地域の方との交流が深まっている。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
家族には面会時に意見等を聞くようにしている。また、一人ひとりの面会ノートを作成し、面会時に気づいたこと等を書いてもらうようにしている。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
地域の方がホームを訪問する際には、認知症の方との基本的な対応の仕方、個人情報保護についてのオリエンテーションを実施している。また、地域の行事の祭りや大掃除にも積極的に参加している。今夏は利用者スタッフで作成した作品がお祭りで金賞を受賞するなど良い思い出もできた。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	有限会社ユニット・ワン
(ユニット名)	グループホームユニットいよ A棟
記入者(管理者)	
氏名	三浦 洋子
評価完了日	平成19年 8 月 8 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 大きな理念とは別にスタッフの気付きをネームプレートの裏にプリントして入れてあります。 (外部評価) 法人の理念とは別にホーム自体の理念を管理者を中心として作成している。地域密着型を意識した項目「隣近所との付き合いを大切にします」も追加し、各職員の名札の裏側にも理念を印刷している。	※	スタッフよりアイデアがでたり、意見がある時はミーティングをして適宜変更追加をしています。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関の壁に理念を掲げてあるので出勤時には必ず目を通してから仕事に入るようにスタッフ自身で意識付けをしています。 (外部評価) 職員は仕事でストレスを感じた際には、名札の裏に入れた理念を見ることで気分一新して業務に取り組んでいる。また、理念をより具体化するために毎月の目標をスタッフが順番に決めて業務に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入口横に設置してある伝言ボードにプリントした理念を貼ってあります。1F、2Fの入り口にも見て頂けるようにしてあります。		
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 伝言ボードは運営推進会議で地域の皆様の要望により設置したもので、地域とユニットいよの架け橋、情報交換、交流の場として活用、利用して頂いております。お互いの声かけの第一歩です。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 今年から町内会へ入りました。お祭り、土曜夜市、緑日の準備、大掃除(台風で中止、各自で)等声をかけていただきました。 (外部評価) 町内会にも加入し、前年と比べると一段と交流が深まってきている。近隣の方もホームを訪れ、旧知の方との交流を深める場面もあり、利用者の方が昔の話をいきいきとする様子も見ることが出来る。また、今年はお祭りに出品した利用者・スタッフ共同制作の作品が金賞を受賞した。	※	台風、災害時など避難場所として提供の声かけをしてユニットいよの多目的ルームが利用できる事の説明をしていきます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 伝言ボードを少し大きめに作っているの、そこへ情報や話題の提供をしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の改善事項や新しい事の取入れ等、申し送りやミーティングで話し合っています。 (外部評価) 前年度の評価を受け、スタッフの研修体制・緊急時の対応・避難訓練・地域との連携等についてそれぞれ改善に取り組んでいる。今回の評価も管理者だけでなく各ユニットの主任・リーダーが協議しながら作成している。	※	自己評価については、全職員で評価に取り組むことを期待する。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議後は、ミーティングで申し送りをして全員のスタッフに内容の把握してもらっています。 (外部評価) 運営推進会議は、家族・ボランティア・近隣の方々・市担当者等をメンバーに平成18年11月から定期的に行っており、議事録も作成し、スタッフにも周知している。会議で提案された大きな案内板をホーム玄関前に設置し、道行く人々へホームからのお知らせや地域の広報に大いに役立っている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市役所へは更新やその他の手続きで出かける事も多く、声かけをして顔見知りになってきています。 (外部評価) 主に運営推進会議を利用して、市担当者に対してホームの現場が抱える問題点や要介護者が抱える不安・不満などを、現在の制度と関連付けながら積極的に伝えている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修案内には必ず目を通し研修後はミーティングで報告し、資料は全員が見るようにしています。	※	成年後見制度についてはユニットに講師を招いて学習の場を持ちたいと話し合いをしています。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 身体の時だけではなく、何気なく言った思いがけない言葉が心を傷つけてしまう事がありがちなのでスタッフ間で自分が言われて嫌な言葉は使わないように話し合いをしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の説明は、家族もスタッフも出来るだけ2人ずつで行うようにしています。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) オリジナルの連絡ノート（入院時）面会ノートを作って自由に意見を書いてもらっています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 「ユニットいよ」通信を毎月発行して報告・予定をお知らせしています。 (外部評価) ホーム便りを毎月発行して行事報告や予定を知らせている。また、一人ひとりの利用者の情報は介護計画の内容の経過等、必要な情報を伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情処理担当、あるいは利用者担当スタッフが電話時や来所持に話をしています。 (外部評価) 家族の訪問時には、各スタッフが声かけをして意見等を聞くようにしている。また一人ひとりの面会ノートを作成し、訪問時に感じたことを記入してもらっている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ホーム長会（会長、社長、各ユニット長、主任、ケアマネ）でスタッフからの意見を出して話し合いをしています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 急変時、突発時に対してすぐ動けるような緊急連絡網を作っており連絡は縦方式でスムーズにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動があってもイベントや用事で来る事も多いのでさりげない声かけや態度で、逢う時間は出来るだけ取っています。 (外部評価) 各職員が責任感を持って仕事ができるように、各人にあつた研修に参加してもらい、ホームに必要な人材であるという意味合いのことを伝えている。また、管理者・主任・リーダーがスタッフの不満等を聞き、ストレスに配慮している。異動した場合は、元の職場に行った際には各利用者に声をかけている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修は個々の特性を活かせる内容に応じたものを選ぶ場合もあります。 (外部評価) パート・常勤職員全員が業務として研修を受講できる体制になっている。内容も現在各スタッフが抱えている問題や担当業務の内容に関連する研修に参加できるようにし、有意義な研修が行えている。研修参加後は他のスタッフにも報告し周知している。	※	積極的にプランを出せるような雰囲気を作っているように努めています。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 土地柄（伊予市）もあり、お互い知人であること等からグループホーム、その他の交流は積極的に行っています。 (外部評価) 運営法人内に3つのホームがあり、全体での学習会以外にも管理者、計画作成担当者など役割別の勉強会を行っており、業務に非常に役立っている。また、各ホームに行った時に気づいた点などは率直に伝えたり、また自分のホームに活かしたりして、質の向上に役立っている。	※	集まりの会がある時はできるだけ参加しています。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 傾聴する事、公平に接する事で信頼する気持ちをお互い持つ努力をしています。	※	交流会やミーティング、親睦会などで意見交換しています。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 気分転換の声かけや個別のミーティング等を行って傾聴する事から始め、気持ちや言葉をしっかり受け止めるようにしています。	※	公平に人を見るように心がけています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 笑顔を忘れない、言葉はていねいに、あたたかくがモットーです。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 希望や要望の傾聴。しかし、あせらずゆっくりお互いを理解する方向付けをしています。	※	介入のボーダーラインの見極めに気を付けています。
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 超えてはいけないボーダーラインの見極めをしっかりと把握するようにしています。	※	あらゆる先入観を持たない、白紙で対応に努めています。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 自己紹介をしたり、希望を聞いたり、コミュニケーションから始めています。 (外部評価) 今年からデイサービスを実施しており、今後はデイサービスと連携した利用開始も可能な体制となっている。現在は、入居開始時には家族の了解を得て、電話で家族の声を聞き安心して利用してもらうような工夫をしている。また、不安の強い方には添い寝して不安を和らげることもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 人同士のふれあいの基本は傾聴、共感、そしてコミュニケーションから始めています。 (外部評価) 食事中に席を立てて用事を済ませて戻ってくると「忙しいね」と声をかけてもらったり、夜中に起きてきた方に「まだ起きとんの、はよおねよ」と声をかけてもらったりすると心が癒される。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の安心が家族の安心に結びつくように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ケアプランの中の家族の希望の取入れをして相互理解へ持っていくようにしています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 思い出の場所、好きな所への散歩などを心がけています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 顔見知りや知人である利用者が多いので話しの輪が広がる方向へ進んでいます。		
32		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去後も時折の訪問、電話は欠かさないようにしています。	※	在宅、独居の方に関しては1/Wの訪問をスタッフで関わりたいと思っています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の背景、サマリーをミーティングで報告しています。個性は尊重しつつ、公平な支援の方向へ取り組んでいます。 <hr/> (外部評価) 「あなたを理解したい」という理念をかかげ、具体的実践としては自分から話をすることが少ない方にも積極的に話を聞くようにしている。本人の希望も担当者等が聞き、計画に活かすようにしている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者は近隣の方も多くスタッフも地元なので共感する部分が大いにあります。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 個性を理解しながら共生できる方向への声かけに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 共に生活しているうちに少しずつお互いを理解していくようになり、それをプランに取り入れていくようにしています。		
			(外部評価) 介護計画は本人・家族の意向を重視しながら、担当者・計画作成担当者が全スタッフの意見を参考にして作成している。また、可能な方には計画途中で本人にモニタリングを行っている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 身体や気持ちの変動は常であるのでトータル的な情報の収集は怠らないようにしています。	※	ケースバイケースですが体調に合わせる事（入院後）等、現状把握には特に注意したいと思います。
			(外部評価) 定期的に、又必要に応じて見直しを行っている。特に担当者や計画作成担当者は、一人ひとりの体調や気持ち、身体状況の変化等の情報収集に配慮している。家族へも計画実践の上での変化等について報告している。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) カルテ、ミーティング、申し送りの活用で全員が情報把握に努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 現在2Fが生活空間で多少不便ではありますがその分3F屋上から伊予灘の景色を楽しむ等、デメリットをメリットに転換しています。		
			(外部評価) 近隣の方のデイサービスの受け入れを開始したことで、入居者の方が活動や役割に対して積極的になった。また、入居者が長期入院した場合など、家族ができない部分の世話などを支援している。外来受診への同行も家族が困難な場合は行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域との交流が広がっておりボランティアは月1回来所、支援がスタートしました。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) まだまだ、交流を深める方向付けの勉強不足を感じています。	※	時折、他の事業所のケアマネの方たちとの交流の時間が出来始めたので大いに利用したいと思います。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今年包括支援センターが設置されたので少しずつ関わらなければならないと思っています。	※	41番と同様です。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人なじみのホームドクターを優先していますが緊急時のみ利用者、家族の許可を頂き適切な医療を受けています。 (外部評価) 週に3日は医師が往診に来る。また、往診のない日も、朝・夕の健康状態や気になることを医師に伝えて常に相談に乗ってもらえる体制がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 目下、情報収集中であります。	※	情報をどんどん収集したいと思います。
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 定期的に往診があり、その際相談したり質問したり等して取り組みは出ています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院、看護師、家族に情報を頂いたり、お見舞いノートを作って記入して頂き、定期的に話し合いを持っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入退院が何度かあった方に関して家族との話し合いは行えています。 (外部評価) ホームでできること・できないこと、病院との違いについて分かりやすく家族に話し、万一の時の対応について家族に検討してもらい、方針を家族・スタッフ・医師で共有しているケースがある。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ケアプランを変更し、より利用者が心地よい日常生活を送るため、ベストプラン作成等の努力をしています。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) まず、利用者の気持ちの優先から入り、納得へと結びつけていくようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉使いに対しては十分に気をつけて使っています。 (外部評価) 地域の方が訪問するときには、「個人情報の保護について、認知症の方との基本的な対応について」を管理者がオリエンテーションしている。また、スタッフが日常の記録を書く際は、見えない場所で書くなど配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者の自己決定だけで前へ進められない場合もあるので傾聴しながら周りとの調和にも気を配っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の都合は最優先ですが共同で生活している事の理解をもって頂く事も大切なので話し合い、説明の時間を作っています。 (外部評価) 食事の時間も、その時々のお気持ちに配慮し、時間をずらしたり、居室でスタッフと食事をしたりするなど柔軟に対応している。また、早朝に潜水艦が来た時には、スタッフが早く出てきて希望者と一緒に近くの港まで見に行ったこともある。	※	誰もが共生出来る為の知識を身につける様に努めています。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 朝の整髪や身だしなみについては、鏡の前できちんと話し合いながら行っています。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 茶碗、箸、湯のみ、コップ等日常使う物は利用者の希望の物を購入しています。 (外部評価) 食事中はスタッフの明るい声かけを中心に、楽しい時間が持てている。また、後片付けができる方は積極的に楽しんで行っている。月に一度弁当の日を作って、雰囲気を変えるような工夫もしている。	※	もっと笑いながらゆったりゆっくりと食事できる方法をと考えています。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) タバコ、おやつ等の量は利用者の疾病や体調を見ながら支援しています。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している	(自己評価) オムツ→ポータブルトイレ→トイレというように利用者の体調に合わせています。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一応の目安はありますが、可否は利用者によってタイミングを計っています。原則として同姓介助です。 (外部評価) 原則は週2回の利用であるが、希望があれば毎日でも利用できる。入浴を拒否する場合は、誘うスタッフを変えたり声かけを工夫するなどして対応している。	※	夜間入浴を希望される方が減少しました。希望を出して頂きたいのですが・・・利用者の意思が優先です。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) リネン調節、布団干し、シーツ交換は利用者と共にしています。		
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) お話させて頂く時間を取って、その中から利用者の心を押し量るようにしています。 (外部評価) 毎日午前中は体操、簡単なゲーム、会話などで楽しんでいる。役割は一人ひとりの力を考慮しながら、居室の掃除やシーツ交換・花の水遣り・洗濯物の片付け等を一緒にしている。また、創作活動も、お祭りに発表したり、室内に掲示したり、入院している利用者へのお見舞いの千羽鶴を折るなど目的・役割を持った活動をしている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者の希望に添えるように声をかけていますが買い過ぎ等がないよう考慮します。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 外出場所（五色浜海岸、町屋、灘町商店街等）が比較的近くにあるので便利です。 (外部評価) 立地条件に恵まれており、安心して散歩できる道や買い物できる商店街、一休みできる公園があり、頻繁に外出できている。また、ドライブも頻繁に行っており、その日その日の希望が叶うようにしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節の行事の中に外出を取り入れて気分転換を図っています。	※	宿泊もしてみたいと考えています。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状、暑中ハガキ等できるだけ全員に書いて頂いたり、電話も自由にご利用いただいています。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 地元の方がよく来て下さいます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体に危険が及ばない限り、身体拘束をしない方向で取り組んでいます。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は外部からの訪問も考慮しインターホン対応をしています。フロア、その他は開放しています。 (外部評価) ユニット間は自由に行き来でき、開放感がある。ホームは2階にありエレベーターでの出入りとなっている。スタッフは出入り口の利用者の行動には特に注意を払っている。屋上は海が見える広い空間もあり気分転換にも利用できる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の所在確認はしています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 使用するか否かの話し合いをしてから決めています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会において質疑応答、対応策のマニュアルを学習しています。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを目に付く所に置いています。また、訓練は定期的に行っており、ヒヤリハット後は反省会をします。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練は年2回。他には運営推進委員会、伝言ボードを大いに活用しています。 (外部評価) 避難訓練等は定期的の実施できている。近隣の方にも避難訓練の参加協力を依頼しているが、参加を得るまでには至っていない。またデイサービス利用者には、台風の時などホームに避難してもらえることを伝えている。	※	今後より一層近隣の方とのネットワークを深めて、避難訓練等にも参加してもらえるような工夫を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 話し合いや電話での時間をもって説明を行っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日に2回のバイタルチェックを行う等、配慮をしています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 既往症と薬の学習を行っています。屯用についても申し送りノートに記載して伝えています。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェックをきちんと行い、それに合わせて運動や服薬を行っています。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後3回の口腔ケアはできています。(ハミガキ、うがい、入れ歯の洗浄等)		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士による指導、水分チェックも個々にしています。 (外部評価) 食事や水分の摂取量は記録している。栄養士による食事内容の指導も受けている。また、車いす用の体重計も備えており、毎週一度は全身体重を測定している。食事摂取量に変化が出た時にはすぐに医師に対応策を相談している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	（自己評価） 勉強会、研修参加（ホームドクターにより月1回勉強会がある）を行っています。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	（自己評価） 清潔保持、手洗い、食器の煮沸、食材管理は欠かさないようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	（自己評価） 玄関周りのフェンスに花を置いたり、入り口に案内板、伝言ボードを置いたり明るい雰囲気になるようにしています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	（自己評価） 朝、必ず窓を開放し新鮮な空気を取り入れるようにしています。 （外部評価） 外からの光も入り明るさも室温も適切で、匂いもなく快適である。壁にはスタッフ・利用者の手作りの作品が飾られており、季節感や暖かい雰囲気を感じる。調度類にも落ち着いた家庭的な雰囲気を感じる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	（自己評価） 和室や3F屋上の涼み台等自由なスペースを用意しています。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	（自己評価） 利用者の好きな家財道具の設置をして頂いています。 （外部評価） 一人ひとりの居室は、それぞれ家族の写真を貼ったり、必要に応じてテレビやラジオが置かれている。全ての居室にクーラーや電話もあり、使い慣れた調度類もあり、生活感のある居室になっている。居室前には毎日の体操に参加した時の体操カードが掛けられており、日にちの確認にも役立っている。	※	持ち込みの物品が多い場合、物によっては預かりする事もあります。（季節の布団や衣類など）

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) エアコンの清掃、カーテンの洗濯を気をつけて行っています。	※	朝は窓明けで空気の入れ替えを行っています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 安全バーの高さやテーブルの高さ等は配慮しています。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 混乱や失敗(食器を割った、排泄トラブル等)を乗り越えられるような援助の形を試みています。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関前のフェンスに花を置いたり3F屋上でプランターに花や野菜を植えて世話をして楽しんでいます。	※	季節を感じるができる花を増やそうと思っています。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	地域の利用者・職員である事のメリット、デメリット。利用者の背景と現在望んでいることのギャップ等、うつろいやすい人の心を掴むという事は容易ではありません。理解への方向付けをしています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	昼食後、くつろぐ時間が少々とれるので世間話やテレビを一緒に楽しんでいます。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	自分でできる事の多い方はマイペースにスタッフの少女の介助を加味し、そうでない方はスタッフがいろいろな声かけをして了解を得て次の動作へと移っているのとはいきません。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	納得したうえでの介助ではあっても、次の瞬間それが不満になる場合もあります。とにかく利用者の思い、願いをすばやく理解できるようにしたいと思っています。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	その時どうしてもいきたい場合と延ばしていけば良い場合もあります。その場所、その時間、その内容で話をしています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	毎日2回(10:00、16:00)のバイタルチェック、状態報告をホームドクターにしています。利用者の往診日程も毎月あります。急変時の対応もできています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	要望・状況に応じた対応の取り入れはスタッフの話し合いでその場に応じたアクションをしています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	来所時の会話、電話での相談、ケアプランへの家族の要望、希望の取り入れなど必要に応じて受け止めています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	個人差はありますが、地域への浸透という意味でよく来所して下さいます。居室だけでなく、リビングで他の利用者の方への声かけもたくさんして下さいます。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	ユニット入口の伝言ボードは運営推進会議で地域の皆様方の要望で作ったものです。どんどんつながりを広めています。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 1 ほぼ全ての職員が 評価) ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ライセンスの有無ではなく、お互いに知識の提供、説明等メンタルな部分も含めてミーティングの場でのアドバイスが20才～60才のスタッフの中で少しずつレベルアップに結びついていると思っています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	”ありがとう”の言葉を利用者・スタッフ共に毎日たくさん言えるようにしています。心地良い”ありがとう”頂いています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	”ユニットいよ通信”を家族の方に発送し始めて数ヶ月・・・イベントの時、顔を出して下さる方がおられます。物めずらしさからこれが普通に受け止めてくださればと思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

日常生活は穏やかに、でもメリハリは必要。1日何回でも”腹から笑う”事や”ありがとう”の言葉をたくさん伝える事が利用者、スタッフ共にできたらと、思っています。年齢に関係なく、誰にでもアクシデントはあります。ないための目くばり、気くばりは必要ですが、咄嗟の判断や対応できる力、心構えを身につけるように努めています。

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 大きな理念とは別にスタッフの気付きをネームプレートの裏にプリントして入れてあります。 (外部評価) 法人の理念とは別にホーム自体の理念を管理者を中心として作成している。地域密着型を意識した項目「隣近所とのお付き合いを大切にします」も追加し、各職員の名札の裏側にも理念を印刷している。	※	スタッフよりアイデアがでたり、意見がある時はミーティングをして適宜変更追加をしています。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関の壁に理念を掲げてあるので出勤時には必ず目を通してから仕事に入るようにスタッフ自身で意識付けをしています。 (外部評価) 職員は仕事でストレスを感じた際には、名札の裏に入れた理念を見ることで気分一新して業務に取り組んでいる。また、理念をより具体化するために毎月の目標をスタッフが順番に決めて業務に取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入口横に設置してある伝言ボードにプリントした理念を貼ってあります。1F、2Fの入り口にも見て頂けるようにしてあります。		
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 伝言ボードは運営推進会議で地域の皆様の要望により設置したもので、地域とユニットいよの架け橋、情報交換、交流の場として活用、利用して頂いております。お互いの声かけの一歩です。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 今年から町内会へ入りました。お祭り、土曜夜市、縁日の準備、大掃除(台風で中止、各自で)等声をかけていただきました。 (外部評価) 町内会にも加入し、前年と比べると一段と交流が深まってきている。近隣の方もホームを訪れ、旧知の方との交流を深める場面もあり、利用者の方が昔の話をいきいきとする様子も見ることが出来る。また、今年はお祭りに出品した利用者・スタッフ共同制作の作品が金賞を受賞した。	※	台風、災害時など避難場所として提供の声かけをしてユニットいよの多目的ルームが利用できる事の説明をしていきます。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 伝言ボードを少し大きめに作っているの、そこへ情報や話題の提供をしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の改善事項や新しい事の取入れ等、申し送りやミーティングで話し合っています。 (外部評価) 前年度の評価を受け、スタッフの研修体制・緊急時の対応・避難訓練・地域との連携等についてそれぞれ改善に取り組んでいる。今回の評価も管理者だけでなく各ユニットの主任・リーダーが協議しながら作成している。	※	自己評価については、全職員で評価に取り組むことを期待する。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議後は、ミーティングで申し送りをして全員のスタッフに内容の把握をしてもらっています。 (外部評価) 運営推進会議は、家族・ボランティア・近隣の方々・市担当者等をメンバーに平成18年11月から定期的に行っており、議事録も作成し、スタッフにも周知している。会議で提案された大きな案内板をホーム玄関前に設置し、道行く人々へホームからのお知らせや地域の広報に大いに役立っている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市役所へは更新やその他の手続きで出かける事も多く、声かけをして顔見知りになってきています。 (外部評価) 主に運営推進会議を利用して、市担当者に対してホームの現場が抱える問題点や要介護者が抱える不安・不満などを、現在の制度と関連付けながら積極的に伝えている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修案内には必ず目を通し研修後はミーティングで報告し、資料は全員が見るようにしています。	※	成年後見制度についてはユニットに講師を招いて学習の場を持ちたいと話し合いをしています。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 身体の時だけではなく、何気なく言った思いがけない言葉が心を傷つけてしまう事がありがちなのでスタッフ間で自分が言われて嫌な言葉は使わないように話し合いをしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の説明は、家族もスタッフも出来るだけ2人ずつで行うようにしています。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) オリジナルの連絡ノート（入院時）面会ノートを作って自由に意見を書いてもらっています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 「ユニットいよ」通信を毎月発行して報告・予定をお知らせしています。 (外部評価) ホーム便りを毎月発行して行事報告や予定を知らせている。また、一人ひとりの利用者の情報は介護計画の内容の経過等、必要な情報を伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情処理担当、あるいは利用者担当スタッフが電話時や来所持に話をしています。 (外部評価) 家族の訪問時には、各スタッフが声かけをして意見等を聞くようにしている。また一人ひとりの面会ノートを作成し、訪問時に感じたことを記入してもらっている。		
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ホーム長会（会長、社長、各ユニット長、主任、ケアマネ）でスタッフからの意見を出して話し合いをしています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 急変時、突発時に対してすぐ動けるような緊急連絡網を作っており連絡は縦方式でスムーズにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動があってもイベントや用事で来る事も多いのでさりげない声かけや態度で、逢う時間は出来るだけ取っています。 (外部評価) 各職員が責任感を持って仕事ができるように、各人にあった研修に参加してもらい、ホームに必要な人材であるという意味合いのことを伝えている。また、管理者・主任・リーダーがスタッフの不満等を聞き、ストレスに配慮している。異動した場合は、元の職場に行った際には各利用者に声をかけている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修は個々の特性を活かせる内容に応じたものを選ぶ場合もあります。 (外部評価) パート・常勤職員全員が業務として研修を受講できる体制になっている。内容も現在各スタッフが抱えている問題や担当業務の内容に関連する研修に参加できるようにし、有意義な研修が行えている。研修参加後は他のスタッフにも報告し周知している。	※	積極的にプランを出せるような雰囲気を作っているように努めています。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 土地柄（伊予市）もあり、お互い知人であること等からグループホーム、その他の交流は積極的に行っています。 (外部評価) 運営法人内に3つのホームがあり、全体での学習会以外にも管理者、計画作成担当者など役割別の勉強会を行っており、業務に非常に役立っている。また、各ホームに行った時に気づいた点などは率直に伝えたり、また自分のホームに活かしたりして、質の向上に役立っている。	※	集まりの会がある時はできるだけ参加しています。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 傾聴する事、公平に接する事で信頼する気持ちをお互い持つ努力をしています。	※	交流会やミーティング、親睦会などで意見交換しています。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 気分転換の声かけや個別のミーティング等を行って傾聴する事から始め、気持ちや言葉をしっかり受け止めるようにしています。	※	公平に人を見るように心がけています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 笑顔を忘れない、言葉はていねいに、あたたかくがモットーです。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 希望や要望の傾聴。しかし、あせらずゆっくりお互いを理解する方向付けをしています。	※	介入のボーダーラインの見極めに気をつけています。
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 超えてはいけないボーダーラインの見極めをしっかりと把握するようにしています。	※	あらゆる先入観を持たない、白紙で対応に努めています。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 自己紹介をしたり、希望を聞いたり、コミュニケーションから始めています。 (外部評価) 今年からデイサービスを実施しており、今後はデイサービスと連携した利用開始も可能な体制となっている。現在は、入居開始時には家族の了解を得て、電話で家族の声を聞き安心して利用してもらうような工夫をしている。また、不安の強い方には添い寝して不安を和らげることもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 人同士のふれあいの基本は傾聴、共感、そしてコミュニケーションから始めています。 (外部評価) 食事中に席を立てて用事を済ませて戻ってくると「忙しいね」と声をかけてもらったり、夜中に起きてきた方に「まだ起きとんの、はよおねよ」と声をかけてもらったりすると心が癒される。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の安心が家族の安心に結びつくように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ケアプランの中の家族の希望の取入れをして相互理解へ持っていくようにしています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 思い出の場所、好きな所への散歩などを心がけています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 顔見知りや知人である利用者が多いので話しの輪が広がる方向へ進んでいます。		
32		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去後も時折の訪問、電話は欠かさないようにしています。	※	在宅、独居の方に関しては月1,2回の訪問をする等スタッフで関わりたいと思っています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の背景、サマリーをミーティングで報告しています。個性は尊重しつつ、公平な支援の方向へ取り組んでいます。 <hr/> (外部評価) 「あなたを理解したい」という理念をかかげ、具体的実践としては自分から話をするのが少ない方にも積極的に話を聞くようにしている。本人の希望も担当者等が聞き、計画に活かすようにしている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者は近隣の方も多くスタッフも地元なので共感する部分が大いにあります。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 個性を理解しながら共生できる方向への声かけに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 共に生活しているうちに少しずつお互いを理解していくようになり、それをプランに取り入れていくようにしています。		
			(外部評価) 介護計画は本人・家族の意向を重視しながら、担当者・計画作成担当者が全スタッフの意見を参考にして作成している。また、可能な方には計画途中で本人にモニタリングを行っている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 身体や気持ちの変動は常であるのでトータル的な情報の収集は怠らないようにしています。	※	ケースバイケースですが体調に合わせる事(入院後)等、現状把握には特に注意したいと思います。
			(外部評価) 定期的に、又必要に応じて見直しを行っている。特に担当者や計画作成担当者は、一人ひとりの体調や気持ち、身体状況の変化等の情報収集に配慮している。家族へも計画実践の上での変化等について報告している。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) カルテ、ミーティング、申し送りの活用で全員が情報把握に努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 現在2Fが生活空間で多少不便ではありますがその分3F屋上から伊予灘の景色を楽しむ等、デメリットをメリットに転換しています。		
			(外部評価) 近隣の方のデイサービスの受け入れを開始したことで、入居者の方が活動や役割に対して積極的になった。また、入居者が長期入院した場合など、家族ができない部分の世話などを支援している。外来受診への同行も家族が困難な場合は行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域との交流が広がっておりボランティアは月1回来所、支援がスタートしました。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) まだまだ、交流を深める方向付けの勉強不足を感じています。	※	時折、他の事業所のケアマネの方たちとの交流の時間が出来始めたので大いに利用したいと思います。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今年包括支援センターが設置されたので少しずつ関わらなければならないと思っています。	※	41番と同様です。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人なじみのホームドクターを優先していますが緊急時のみ利用者、家族の許可を頂き適切な医療を受けています。 (外部評価) 週に3日は医師が往診に来る。また、往診のない日も、朝・夕の健康状態や気になることを医師に伝えて常に相談に乗ってもらえる体制がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 目下、情報収集中であります。	※	情報をどんどん収集したいと思います。
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 定期的に往診があり、その際相談したり質問したり等して取り組みは出ています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院、看護師、家族に情報を頂いたり、お見舞いノートを作って記入して頂き、定期的に話し合いを持っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入退院が何度かあった方に関して家族との話し合いは行っています。 (外部評価) ホームでできること・できないこと、病院との違いについて分かりやすく家族に話し、万一の時の対応について家族に検討してもらい、方針を家族・スタッフ・医師で共有しているケースがある。		
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ケアプランを変更し、より利用者が心地よい日常生活を送るため、ベストプラン作成等の努力をしています。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) まず、利用者の気持ちの優先から入り、納得へと結びつけていくようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉はゆっくりとていねいに話すように心がけています。 (外部評価) 地域の方が訪問するときには、「個人情報の保護について、認知症の方との基本的な対応について」を管理者がオリエンテーションしている。また、スタッフが日常の記録を書く際は、見えない場所で書くなど配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ジェスチャーや大きな字で理解して頂くようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者の都合は最優先ですが共同で生活している事の理解をもって頂く事も大切なので話し合い、説明の時間を作っています。 (外部評価) 食事の時間も、その時々々の気持ちに配慮し、時間をずらしたり、居室でスタッフと食事をしたりするなど柔軟に対応している。また、早朝に潜水艦が来た時には、スタッフが早く出てきて希望者と一緒に近くの港まで見に行ったこともある。	※	誰もが共生出来る為の知識を身につける様に努めています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 朝の整髪や身だしなみについては、鏡の前できちんと話し合いながら行っていますが笑顔が返事だと思っています。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 茶碗、箸、湯のみ、コップ等日常使う物は利用者の希望の物を購入しています。 (外部評価) 食事中はスタッフの明るい声かけを中心に、楽しい時間が持っている。また、後片付けができる方は積極的に楽しんで行っている。月に一度弁当の日を作って、雰囲気を変えるような工夫もしている。	※	もっと笑いながらゆったりゆっくりと食事できる方法をと考えています。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) タバコ、おやつの量等は利用者の疾病や体調を見ながら支援しています。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツ→ポータブルトイレ→トイレというように利用者の体調に合わせています。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一応の目安はありますが、可否は利用者任せにタイミングを計っています。原則として同姓介助です。 (外部評価) 原則は週2回の利用であるが、希望があれば毎日でも利用できる。入浴を拒否する場合は、誘うスタッフを変えたり声かけを工夫するなどして対応している。	※	夜間入浴を希望される方が減少しました。希望を出して頂きたいのですが・・・利用者の意思が優先です。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) リネン調節、布団干し、シーツ交換はしています。雨の日は布団乾燥機を使います。		
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) お話させて頂く時間を取って、その中から利用者の心を押し量るようにしています。 (外部評価) 毎日午前中は体操、簡単なゲーム、会話などで楽しんでいる。役割は一人ひとりの力を考慮しながら、居室の掃除やシーツ交換・花の水遣り・洗濯物の片付け等を一緒にしている。また、創作活動も、お祭りに発表したり、室内に掲示したり、入院している利用者へのお見舞いの千羽鶴を折るなど目的・役割を持った活動をしている。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者にお金の大切さは説明しますが、買い物にいくという部分に関しては困難をとまいません。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 外出場所（五色浜海岸、町屋、灘町商店街等）が比較的近くにあるので便利です。 (外部評価) 立地条件に恵まれており、安心して散歩できる道や買い物できる商店街、一休みできる公園があり、頻繁に外出できている。また、ドライブも頻繁に行っており、その日その日の希望が叶うようにしている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節の行事の中に外出を取り入れて気分転換を図っています。	※	宿泊もしてみたいと考えています。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 年賀状、暑中ハガキ等できるだけ全員に書いて頂いたり、電話も自由にご利用いただいています。		


自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 地元の方がよく来て下さいます。		
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体に危険が及ばない限り、身体拘束をしない方向で取り組んでいます。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は外部からの訪問も考慮しインターホン対応をしていますがフローア、その他は開放しています。 (外部評価) ユニット間は自由に行き来でき、開放感がある。ホームは2階にありエレベーターでの出入りとなっている。スタッフは出入り口の利用者の行動には特に注意を払っている。屋上は海が見える広い空間もあり気分転換にも利用できる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者の所在確認はしています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 使用するのが困難な利用者が多いので介助という形をとっています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会において質疑応答、対応策のマニュアルを学習しています。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを目に付く所に置いています。また、訓練は定期的に行っており、ヒヤリハット後は反省会をします。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練は年2回。他には運営推進委員会、伝言ボードを大いに活用しています。 (外部評価) 避難訓練等は定期的の実施できている。近隣の方にも避難訓練の参加協力を依頼しているが、参加を得るまでには至っていない。またデイサービス利用者には、台風の時などホームに避難してもらえることを伝えている。	※	今後より一層近隣の方とのネットワークを深めて、避難訓練等にも参加してもらえるような工夫を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 話し合いや電話での時間をもって説明を行っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日に2回のバイタルチェックを行う等、配慮をしています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 既往症と薬の学習を行っています。屯用についても申し送りノートに記載して伝えています。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェックをきちんと行い、それに合わせて運動や服薬を行っています。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後3回の口腔ケアはできています。(ハミガキ、うがい、入れ歯の洗浄等)		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士による指導、水分チェックも個々にしています。 (外部評価) 食事や水分の摂取量は記録している。栄養士による食事内容の指導も受けている。また、車いす用の体重計も備えており、毎週一度は全員の体重を測定している。食事摂取量に変化が出た時にはすぐに医師に対応策を相談している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	（自己評価） 勉強会、研修参加（ホームドクターにより月1回勉強会がある）を行っています。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	（自己評価） 清潔保持、手洗い、食器の煮沸、食材管理は欠かさないようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	（自己評価） 玄関周りのフェンスに花を置いたり、入り口に案内板、伝言ボードを置いたり明るい雰囲気になるようにしています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	（自己評価） 朝、必ず窓を開放し新鮮な空気を取り入れるようにしています。 （外部評価） 外からの光も入り明るさも室温も適切で、匂いもなく快適である。壁にはスタッフ・利用者の手作りの作品が飾られており、季節感や暖かい雰囲気を感じる。調度類にも落ち着いた家庭的な雰囲気を感じる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	（自己評価） 和室や3F屋上の涼み台等自由なスペースを用意しています。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	（自己評価） 利用者の好きな家財道具の設置をして頂いています。 （外部評価） 一人ひとりの居室は、それぞれ家族の写真を貼ったり、必要に応じてテレビやラジオが置かれている。全ての居室にクーラーや電話もあり、使い慣れた調度類もあり、生活感のある居室になっている。居室前には毎日の体操に参加した時の体操カードが掛けられており、日にちの確認にも役立っている。	※	持ち込みの物品が多い場合、物によっては預かりする事もあります。（季節の布団や衣類など）

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) エアコンの清掃、カーテンの洗濯を気をつけて行っています。	※	朝は窓明けて空気の入替えを行っています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 安全バーの高さやテーブルの高さ等は配慮しています。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 介助の必要な方が多いのですが、出来る事をみつけるようにしています。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関前のフェンスに花を置いたり3F屋上でプランターに花や野菜を植えて世話をして楽しんでいます。	※	季節を感じる事ができる花を増やそうと思っています。

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	地域の利用者・職員である事のメリット、デメリット。利用者の背景と現在望んでいることのギャップ等、うつろいやすい人の心を掴むという事は容易ではありません。理解への方向付けをしています。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	昼食後、くつろぐ時間が少々とれるので世間話やテレビを一緒に楽しんでいます。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	自分でできる事の多い方はマイペースにスタッフの少女の介助を加味し、そうでない方はスタッフがいろいろな声かけをして了解を得て次の動作へと移っているのとはいきません。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	納得したうえでの介助ではあっても、次の瞬間それが不満になる場合もあります。とにかく利用者の思い、願いをすばやく理解できるようにしたいと思っています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	その時どうしてもいきたい場合と延ばしていけば良い場合もあります。その場所、その時間、その内容で話をしています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	毎日2回(10:00、16:00)のバイタルチェック、状態報告をホームドクターにしています。利用者の往診日程も毎月あります。急変時の対応もできています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	要望・状況に応じた対応の取り入れはスタッフの話し合いでその場に応じたアクションをしています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	来所時の会話、電話での相談、ケアプランへの家族の要望、希望の取り入れなど必要に応じて受け止めています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	個人差はありますが、地域への浸透という意味でよく来所して下さいます。居室だけでなく、リビングで他の利用者の方への声かけもたくさんして下さいます。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	ユニット入口の伝言ボードは運営推進会議で地域の皆様方の要望で作ったものです。どんどんつながりを広めています。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 1 ほぼ全ての職員が 評価) ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ライセンスの有無ではなく、お互いに知識の提供、説明等メンタルな部分も含めてミーティングの場でのアドバイスが20才～60才のスタッフの中で少しずつレベルアップに結びついていると思っています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	”ありがとう”の言葉を利用者・スタッフ共に毎日たくさん言えるようにしています。心地良い”ありがとう”頂いています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ①ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	”ユニットいよ通信”を家族の方に発送し始めて数ヶ月・・・イベントの時、顔を出して下さる方がおられます。物めずらしさからこれが普通に受け止めてくださればと思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

日常生活は穏やかに、でもメリハリは必要。1日何回でも”腹から笑う”事や”ありがとう”の言葉をたくさん伝える事が利用者、スタッフ共にできたらと、思っています。年齢に関係なく、誰にでもアクシデントはあります。ないための目くばり、気くばりは必要ですが、咄嗟の判断や対応できる力、心構えを身につけるように努めています。